

いきいきエデュケア⑨

— 子育て・孫育て・自分育ち —

くだけけ会代表

和田重良



地球人類の維持と「教育」

子育て・孫育て・自分育ちの最大のポイントは「地球人類の維持」にあるのです。

食生活

先進的文明国に暮らしているほくらにとってちょっと分かりにくいことかも知れませんが、実は「食糧事情」というのは人類にとってとても大切なテーマです。例えばお米の自給率が何かの事情で5パーセントも狂ってしまうと生活はガタガタになってしまいます。「輪

入すればいいでしょ」となりますが、これはこれでまた問題が起きて、小麦やバターと同じように生活に直にかかわってきます。

残留農薬や防腐剤の問題もあります。新鮮なものを美味しく食べられる生活というのは「しあわせ」なのです。地球上には億単位で「食べない人々」がいるってことをすぐ忘れてしまいます。だからこそ、毎日の食事は大切です。簡単にしてしまえば済ませることもできますが、子どもたちといっしょに手間ひまかけて作って楽しむ心は大切です。

人間として

自然と共に生きているということをお忘れてはならないですね。ほからは人間ですから、太陽があり、水があり、空気があり、石があり、木があり、花があり、様々な動物がいっしょに生きているからこそ地球生物という存在なのです。

子どもは小さい頃から自然の中で育まれる感性が大切なのです。

そうして、子どもは人間になっていくのです。頭の中だけで「知識」いっぱいだけでは残念ながら人間にはちよつと足りないものがあるのです。

未来を創造する

子どもたちが未来を創造していくのだということをお忘れてはいけません。

この子たちの50年後にこの地球はどうなっているのか？ 人類は一体どうしているのか？ ほくら大人の責任でもあるのですが、松田高志先生の提唱のように、子どもたち自身が自分たちの未来を思い描き、創造していく源を造っていくことが大切です。（くだけけ会では「地球大好きプロジェクト」がはじまっています。）

もちろん「人間のしあわせ」ということが土台となっていくのですから、家庭や学校で子どもたちがどんな

「生活」をしていくのかが大きなポイントです。

地球人類が「平和で楽しく生命環境を維持発展していくために」様々な場面で教育の転換が必要となってきました。毎日の生活の中で自分自身がどんなテーマを持って生長していけばよいのか？ そんな根本的な問いかけがとても大事な時代になってきたのです。

政治や経済のあり方にもこの「地球人類の維持」は大切なことです。「自分だけ」「今だけ」「お金だけ」の行き詰まりは明白ですから。

一口メモ

世界中の人々、そして地球上の自然、生き物たちと一緒にしあわせに生きていくためにどんなことをしたらよいのか？ いっしょに描いてみましょう。

（松田高志先生「地球大好きプロジェクト」より）